



グジジョブセンターおきなわ



県立図書館



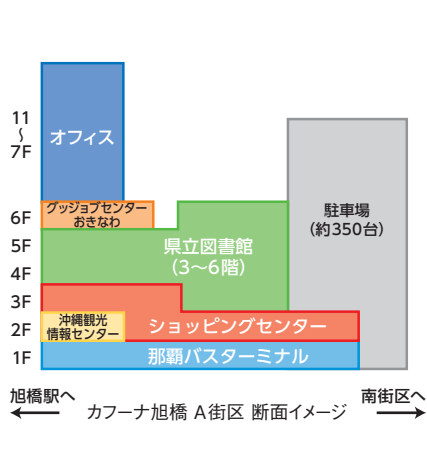
沖縄観光情報センター

那覇市泉崎のグジジョブセンターおきなわは、国、県、労働団体、経済団体が一体となって、学生の方・女性の方・高齢の方・障害のある方・経営者の方など、あらゆる人の生活から仕事に関する様々な悩みをワンストップで支援するセンターです。6階への移転後は、ハローワークの機能が強化されるほか、沖縄県女性就業・労働相談センターも移転し、更なる支援に取り組みます。特に若者の就職支援については、沖縄県キャリアセンターとハローワークが一体となって強力にサポートします。

グジジョブセンターおきなわ(10月オープン予定)

昭和58年以來、35年にわたって那覇市寄宮で業務を行ってきた県立図書館は、3〜6階に移転します。新しい図書館は、面積・座席数は約2倍、資料の保存能力は約3倍になるほか、ビジネス支援に特化したエリアを設置するとともに移民資料コーナーや多文化エリアなど新たなコーナーの設置や本と人・人と人が交流するエリアを設け、誰もが気軽に利用できる施設として県民に親しまれ、県民とともに成長・発展していく一知の拠点を目指します。

県立図書館(12月オープン予定)



沖繩の玄関口、県都那覇の「顔」となるカフーナ旭橋に、ぜひお越しください。

ショッピングセンター・オフィス等(10月オープン予定)

カフーナ旭橋2〜3階には、ショッピングセンター「OPA(オーパ)」のほか、複数のオフィスなども入居し、バスターミナル、図書館等の施設とあわせてビジネス・商業をはじめとした交流の拠点としての役割が期待されています。これらは10月にオープンする予定です。

モノレール旭橋駅とは2階の歩行者デッキで直結し、A街区には350台以上の駐車場が併設されています。既に開業した南街区には、沖縄県旅券(パスポート)センター、南部合同庁舎などの行政機関、ホテル、飲食店、オフィスなどが入居しています。A街区と南街区は、歩行者デッキを設置して、来訪者がスムーズに移動できるようになっています。

カフーナ旭橋について

モノレール旭橋駅周辺地区市街地再開発事業は、平成19年からスタートしました。この地区は、沖縄都市モノレール(ゆいレール)旭橋駅と、県内の路線バスが集中する那覇バスターミナルの両方が隣接するという特長があります。これを生かして、交通の結節点の機能を強化すること、また、駅前になさわしいビジネス・商業・宿泊など、さまざまな都市機能を備え、県都那覇の玄関口としての顔となり、多くの県民・観光客が安全・快適に移動できる環境整備を目指してきました。

再開発地区(愛称:カフーナ旭橋)は、平成24年に完成した南街区に続いてA街区(旧那覇バスターミナル)が今年完成し、いよいよすべての街区が開業します。



旭橋駅周辺地区市街地再開発事業位置図(イメージ)

問い合わせ

- 旭橋都市再開発株式会社 電話:098-834-9050 ※カフーナ旭橋地区全般について
- 企画調整課 電話:098-866-2026 ※旭橋駅周辺市街地再開発事業について
- 交通政策課 電話:098-866-2045 ※那覇バスターミナルについて
- 観光振興課 電話:098-866-2764 ※沖縄観光情報センターについて
- 教育庁生涯学習振興課 電話:098-866-2746 ※県立図書館について
- 雇用政策課 電話:098-866-2324 ※グジジョブセンターおきなわについて

2階には、新たに沖縄観光情報センター(略称:OTIC)がオープンします。モノレールとバスが結節するカフーナ旭橋の特長を生かして、観光客の皆さんが不自由を感じることなく、快適で安全・安心な旅ができるよう多言語対応の情報提供・観光案内を行います。

センターでは、沖縄文化体験コーナーや休憩所などを設け、訪れる皆さんに快適な沖縄旅行を楽しんでいただけるようなサービスを提供します。

沖縄観光情報センター(10月1日オープン予定)

那覇バスターミナルは、建物が古く老朽化が進んでいたことから、災害に強い耐震性や耐久性、バリアフリーなどの快適性が課題となっていました。

1階の新しいバスターミナルでは、本島各地に向かうバス路線の重要な発着点として、またモノレールやタクシーとの結節点として、従来の機能を維持しつつ、ユニバーサルデザインに配慮した屋内バス待合所や多言語デジタル案内板を備え、売店スペースを設けるなどサービスを向上し、便利で快適なバスターミナルに生まれ変わります。

那覇バスターミナル(10月1日オープン予定)